

だんだんお花畑プロジェクト in 玉城町

このプロジェクトは、春(4月)に行うガーデニングコンテストの企画・運営を行った。その参加者は、玉城町に毎年秋に花の種を撒く作業も行います。とても広い休耕地の段々畑で花を育てるのと、花壇や植木鉢で花を育てるのとはまた違った体験が出来ます。自然が好きな方におすすめのプロジェクトです。



TEAM DATA
メンバーカウント : 10名
活動場所 : 玉城町
実施主体 : 清し有田佐田沖環境保全会
担当教員 : 池山敦(教育開発センター)
活動年度 : R01, R02

月別活動

1年の活動まとめ・考察 (成果と課題)

今年度の活動は新型コロナウィルスの影響もあって、4月に行う予定であったガーデニングコンテストやイベントが行えなくなりました。そこで、期初もあつた今年度初のミーティングを行いました。その後、10月と11月には、昨年度同じくだんだん畑で播種作業を地域のご婦人方とともに協力しながら行いました。活動メンバーが5人(昨年度)から11人(今年度)に増えたため、土をならしたり種を撒く作業が非常にスマーズと協力して遊歩道にする竹林の整備には地域の方々と協力して行いました。12月には作業などを、普段はできないようなことを体験させていただきました。伐採された竹の枝打ち作業や遊び出し作業など、普段はできませんが、4月に開催できました。これから先の2月と3月は、竹林の整備を万全にして行い、地域内外の人々にだんだんお花畑をお披露目して魅力を感じてもらいたいと考えております。



(11月) だんだん畑の播種・植付け作業
(8月) 学内ミーティング兼顔合わせ

(10月) だんだん畑の播種・植付け作業
(11月) だんだん畑の播種・植付け作業

活動を通して学んだこと

● 今年度は新型コロナウィルスの影響はありましたが、実施主体である私たちお花畑の方々おかけで少しでも活動をするイベントに向かって花の種を撒く作業も行います。とても広い休耕地の段々畑で花を育てるのと、花壇や植木鉢で花を育てるのとはまた違った体験が出来ます。自然が好きな方におすすめのプロジェクトです。

● 私が活動を通して学んだことは協力しあうことです。今年度から参加させていただき、初めて播種作業を行いましたが、それぞれが役割を分担して行なうことで素早く丁寧に作業を進めるところができたようになります。また、作業を行う中でなんだん畑周辺の地域の方と接することができないと感じた。大学の中では経験することがない貴重なことを、体験しながら学ぶことができます。

● 花植え、竹林の整備を通して、その町の個性は元来そこにあるものだと学ぶことができました。今まで自分は地域活性化にはその町の独自性を生かすことが重要であると考えていますが、今回の活動を通じて畠や里山などどの地域にも存在する場所が人々の工夫によってその地域独自のものとなることがあります。また、多くの魅力をもつことはあります。また、多くの人に地域のことをほんんど知らなかった自分でしたが、玉城町の出身でいることもありました。三重県の出身であることと、玉城町の魅力をアピールする機会となることをとても地域のことを少しでも多く的人に伝えることができます。そして少しでもいい経験になりました。活動を通じて玉城町の魅力に気づいたと思います。

● 今まで大学の講義で三重県内の地域的魅力や資源を活かすことの重要性を学んできました。しかし地域資源を活かすことの実際は自分達で資源を活用ができます。そのため、この活動のよさを実際に自分達で資源を活用する機会を作ることをとてもいい経験になりました。活動を通じて玉城町の魅力に気づいたと思います。

実施主体からのコメント

清し有田佐田沖環境保全会

ご担当者様

また今年は昨年行った「里山ウォーキング」や「さば打ち体験」といった、学生達自身が里山を知る取り組みが全く行えませんでした。そのため今後の課題としては、これからもしばらくwithコロナの時代が続くと思われる中で、今までのよき慣習しながら活動を行う作業以外に出来ることがないか模索しながら活動していくかと思いました。

(12月) 竹林遊歩道整備
(2月末もしくは3月初旬)
(4月) ガーデニングコンテスト及びイベント開催予定

昨年はコロナウィルスの感染拡大のためイベントの実施がうまく行かなかった面がありましたが、今年度はニューノーマルに配慮して花の開催を実現しました。元々は農地だったためゴソゴソした土塊だけで全面茶色かった地面が、春になり色とりどりの花で覆い尽くされた様子はとても美しく、神張りが目に見えて分かって感動しました。今までの活動で、それまで眠っていた土地に新たな魅力を見出だすことができたのではないかと感じています。これからはその魅力を一人でも多くの人に知ってもらう価値を高めるために、イベントの企画や情報発信にも力を入れていきたいです。

これから、花畠イベントの企画・運営の準備が始まります。コロナ禍という予断を許さぬ状況下ですが、若い世代にも里山の魅力をアピールできるイベントなどを期待しています。

成果物 / 制作物